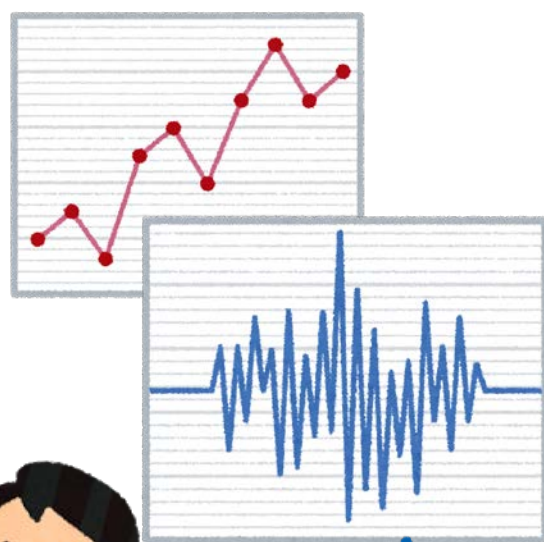


佐賀大学 総合分析実験センター Q & A



総合分析実験センターの紹介



総合分析実験センターは、平成 15 年 10 月の佐賀大学、佐賀医科大学の統合を期に、「医学・農学・理工学分野の融合による新たな生命科学研究の推進」を目標とし、充実した教育研究支援体制のために、旧佐賀大学のライフサイエンス分野、機器分析分野、放射性同位元素利用分野の 3 分野からなる総合分析実験センターと旧佐賀医科大学の動物実験施設、実験実習機器センター、RI 実験施設の 3 施設を統合・再編した全学的な教育研究支援施設です。

現在、総合分析実験センターは生物資源開発部門、機器分析部門、放射性同位元素利用部門、環境安全部門の 4 分野から構成され、本庄地区そして鍋島地区に各 4 部門が設置されています。

本冊子は、センター各部門スタッフが、「どこになにがあるのか」、「ここでなにができるのか」、そして「スタッフはなにを支援できるのか」などを Q&A 方式でまとめました。各部門の場所は地図（本庄地区 3 ページ、鍋島地区 13 ページに記載されています）を参照ください。

日常的な情報提供をセンターウェブページ (<http://www.iac.saga-u.ac.jp/>) から行っていますので、こちらをご参照ください。

総合分析実験センタースタッフ一同

目次

項目	ページ
総合分析実験センターの紹介	1
目次	2
本庄地区	
・ 配置図	3
・ 生物資源開発部門	4
・ 機器分析部門	6
・ 放射性同位元素利用部門	9
鍋島地区	
・ 配置図	13
・ 生物資源開発部門	14
・ 機器分析部門	17
・ 放射性同位元素利用部門	20
両地区	
・ 環境安全部門	23
学外利用	27
総合分析実験センター職員名簿	30

本庄地区配置図

本庄地区には、機器分析部門、生物資源開発部門、放射性同位元素利用部門、環境安全部門の4部門があります。それぞれの部門は地図上に青色で示しています。



生物資源開発部門（本庄地区）



概要

全学共同利用施設として、以下のことを行っています。

1. 遺伝子研究に関する教育・研究の支援
2. 生物多様性条約に関わる法令等の教育訓練

問い合わせ先

管理室	理工学部 9 号館 2 階 206 号室
TEL	0952-28-8898
FAX	0952-28-8896
e-mail	nagano●cc.saga-u.ac.jp (永野 幸生)
ウェブページ	http://www.iac.saga-u.ac.jp/lifescience/

利用手順

申請が必要な場合があります。

まずは、メールにてお問い合わせください。

Q&A

Q. 利用できる施設・機器等は何ですか？

A. 主なものは以下の通りです。

- 1) DNA シーケンサー (Applied Biosystems 3130 Genetic Analyzer)
214号室にあります。
http://www.iac.saga-u.ac.jp/lifescience/instruments/new_dna_sequencer.htm
から情報提供をしています。利用状況をこの HP からチェックすることができます。実験マニュアル等も HP で公開しています。
- 2) 遺伝子組換え植物研究のための閉鎖系温室
<http://www.iac.saga-u.ac.jp/lifescience/instruments/greenhouse.htm>
- 3) 次世代シーケンサーのためのライブラリ調製&データ解析システム
<http://www.iac.saga-u.ac.jp/lifescience/instruments/NGS.pdf>
- 4) フレンチプレス、振盪培養機、ルミノ・イメージアナライザーなど

Q. 遺伝子組換え実験に関して注意することは？

A. 以下ウェブページで情報提供していますので、こちらをご覧ください。

<http://www.iac.saga-u.ac.jp/lifescience/gm/index.htm>

また、申請・届出で困った時は、いつでもご相談ください。

Q. 海外に由来する遺伝資源に関して注意することは？

A. 以下ウェブページで情報提供していますので、こちらをご覧ください。

http://www.iac.saga-u.ac.jp/lifescience/Nagoya_Protocol/

また、困った時は、いつでもご相談ください。

機器分析部門（本庄地区）



概要

全学共同利用施設として、以下のことを行っています。

1. 教育研究に必要な設備・機器の整備と、適切な管理運営
2. 設備・機器取扱者への教育訓練

問い合わせ先

管理室	理工学部 9 号館 1 階 101 号室
TEL / FAX	0952-28-8896
MAIL	honjyo-kiki-staff●ml.cc.saga-u.ac.jp (スタッフ全員)
ウェブページ	http://www.iac.saga-u.ac.jp/index2.htm

利用手順

1. ウェブページより利用申請
2. オリエンテーションの受講
3. 機器の予約
4. 機器利用
5. 利用料金の支払

Q&A

Q. 誰でも利用出来ますか？

A. 機器分析部門（本庄地区）の設備・機器については佐賀大学の教職員・学生であれば利用できます。

Q. 機器を使うためにはどうしたらいいですか？

A. 下記ウェブページより利用申請してください。

<http://www.kiki.pv.med.saga-u.ac.jp:8080/honjo-sinsei.html>

Q. オリエンテーションはいつ開催されますか？

A. 機器利用に必須なオリエンテーションを、毎年度始めに実施しています。
年度途中でも個別に行いますので、ご相談ください。

Q. どんな機器があるのですか？

A. 30 台程の機器があります。主な設備は以下の通りです。

機器名	name	設置場所
CCD 単結晶自動 X 線構造解析装置	CCD single crystal automatic X-ray structural analysis device	107 号室
走査型電子顕微鏡	Scanning Electron Microscope	112 号室
電子スピン共鳴装置	Electron Paramagnetic Resonance	114 号室
フーリエ変換核磁気共鳴装置 (300MHz、400MHz)	Nuclear magnetic resonance	116 号室
液体窒素製造装置（場所は 3 頁参照）	Liquid nitrogen supplier	

その他の設備は、機器一覧を以下の URL からご確認ください。

<http://www.iac.saga-u.ac.jp/temp/instrument/list.htm>

Q. 機器の使い方は教えてもらえますか？

A. 初めて使用する際は、スタッフへ相談ください。必ず、余裕を持ってお問い合わせください。

Q. 利用料金はいくらですか？

- A.** 装置によって異なりますので、以下の URL を、参考にしてください。

<http://www.iac.saga-u.ac.jp/index2.htm>

利用料金は、年 3 回（5 月、9 月、1 月）請求いたします。

5 月請求分は、一般運営経費でしか負担できませんのでご注意ください。

Q. 利用者ミーティング・セミナー・講習会を開催していますか？

- A.** 利用者からの要望を受け付ける場を設けるために、利用者ミーティングを毎年度末に行っています。

また、セミナー・講習会を不定期に開催しています。最先端技術の紹介、既存機種
の取扱い説明、デモ機の設置など、説明を聞きたい機器や技術があれば、是非、ス
タッフにご提案ください。

放射性同位元素利用部門 (本庄地区)



概要

全学共同利用施設として、以下のことを行っています。

1. 放射性同位元素 (Radioisotope:RI) を利用した実験を行うための施設・設備・機器の管理・運営
2. 学内外で RI・放射線発生装置を扱うために必要な教育訓練

問い合わせ先

管理室	放射性同位元素実験室 1 階
TEL / FAX	0952-28-8785 (内線は下 4 桁、鍋島地区からは「6」の後に)
MAIL	f0835●cc.saga-u.ac.jp (龍田 勝輔)
ウェブページ	http://ri.iac.saga-u.ac.jp/index.html

利用手順

1. 登録書類提出
2. RI 教育訓練の受講
3. 健康診断の受診

Q&A

Q. 施設を利用するためにはどのような手続きが必要ですか？

A. 学内外で RI・放射線発生装置を利用するには、登録が必要です。登録するためには、次の条件が満たされていることが必要です。

- ① 放射性同位元素安全取扱講習（新規教育訓練）を受講する。
- ② 健康診断を受診する。

毎年、5月と12月頃に登録希望者に案内を出しています。その時に申し出があれば、教育訓練と健康診断についてお知らせします。他大学などで RI を利用した経歴のある方は年度途中の登録も可能ですので、管理室まで申し出てください。

また、この登録は年度ごとのものなので、翌年度も登録を継続したい場合は、再教育訓練を受講してください。

Q. どのようなアイソトープがどれくらい使用できるのですか？

A. 本庄地区 RI 実験室で使用可能なアイソトープは下記リンク先をご覧ください。

http://ri.iac.saga-u.ac.jp/pdf_word_file/RI_shiyouyou.pdf

なお、同じアイソトープでも実験場所によって、許可使用数量が異なる場合がありますので注意してください。

Q. どのような機器があるのですか？

A. RI 実験室に設置されている機器類と設置場所を下表にまとめました。

機器名	Name	設置場所
液体シンチレーションカウンタ	Liquid scintillation counter	測定室
バイオイメージアナライザー	Bio image analyzer	測定室
遠心分離機	Centrifuge	化学実験室 2
分光光度計	UV-visible spectrophotometer	化学実験室 2
P C R 装置	Thermal cycler	化学実験室 2
ゲルドライヤー	Gel dryer	化学実験室 1
ハンドフットクロスモニタ	Hand foot clothes monitor	汚染検査室

Q. アイソトープの購入の手順が知りたいのですが？

- A.** アイソトープを購入するときは、そのアイソトープが使用可能なアイソトープであることを上表で確認してから、「放射性同位元素使用申込書」と「アイソトープ注文書」に必要事項を記入し、管理室へ提出してください。アイソトープが入荷したら注文者へ連絡します。使用に当たっては「非密封放射性同位元素の使用・保管・廃棄の帳簿」に必要事項を記入してください。詳しいことは管理室までお尋ねください。

Q. ベータ線を出すアイソトープを測定したいのですが？

- A.** 当施設には液体シンチレーションカウンタが 1 台設置されています（測定室）。

Q. 実験のため機器を施設内に持ち込みたいのですが？

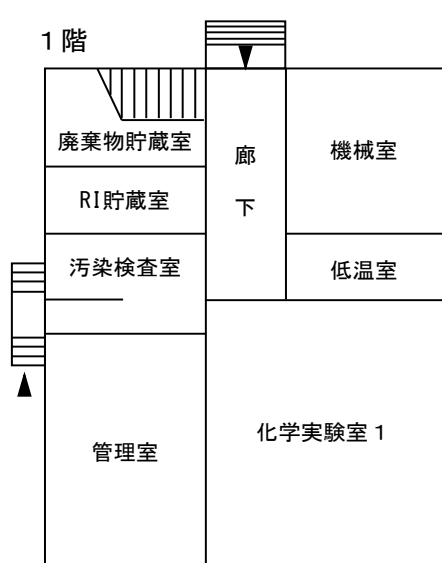
- A.** 実験に必要な機器が当施設に設置されていないために、その機器を持ち込まれる場合には、予め管理室まで御連絡ください。使用後に、それら機器を当施設から引き上げる場合も予め管理室まで御連絡ください。

Q. 実験用の消耗品は講座負担ですか？

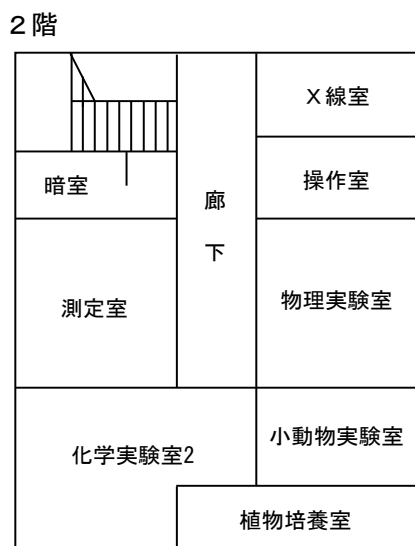
- A.** 実験に使用する一般的な消耗品は原則として利用者負担です。

実験室見取図・設置機器

本庄地区放射性同位元素利用部門実験室見取図及び設置機器



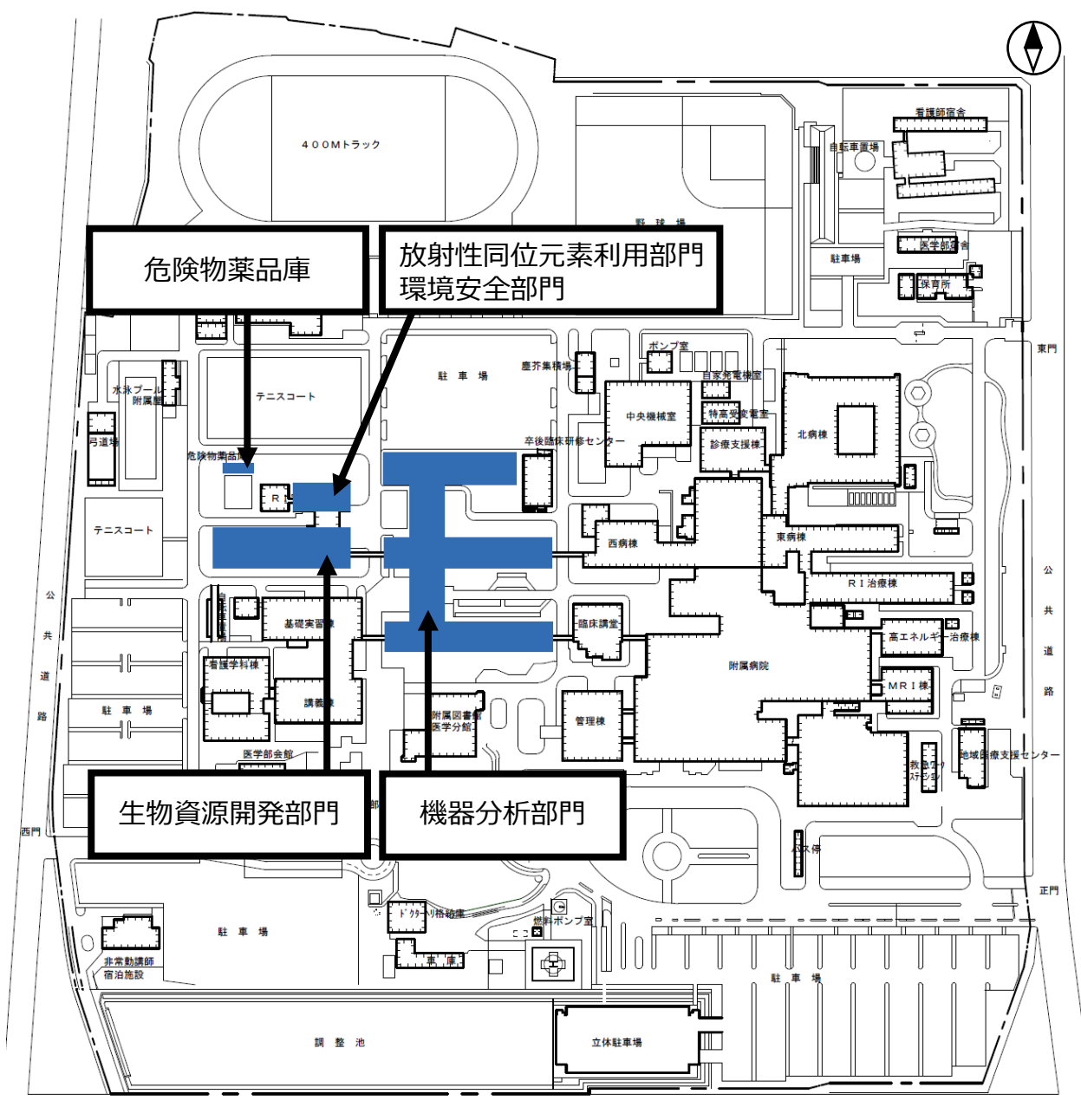
- 4
- 化学実験室 1-
ドラフトチャンバー (2 台)
遠心機
冷却機付遠心機
ゲルドライヤー
インキュベータ
冷蔵庫
ブロックインキュベータ
振とう培養機
 - RI貯蔵室-
RI保管庫 (室温用) (2 台)
RI貯蔵用冷凍冷蔵庫 (1 台)
γ線用冷凍保管庫 (1 台)
 - 汚染検査室-
ハンドフットクロスモニター



- 測定室-
液体シンチレーションカウンター (2 台)
バイオイメージアナライザー
ガンマカウンター
- X線室及び操作室-
X線発生装置 (現在故障中)
- 物理実験室-
HPLC
- 植物培養室-
放射性有機廃液燃焼装置
- 化学実験室 2-
ドラフトチャンバー
遠心機
インキュベータ
冷蔵庫
振とう培養機
分光光度計
- 小動物実験室-
恒温機
低温インキュベータ

鍋島地区配置図

鍋島地区には、機器分析部門、生物資源開発部門、放射性同位元素利用部門、環境安全部門の4部門があります。それぞれの部門は地図上に青色で示しています。



生物資源開発部門（鍋島地区）



概要

全学共同利用施設として、以下のことを行っています。

1. 動物福祉に基づいた実験動物の飼育管理
2. 動物実験に関する教育および研究支援

動物を用いた研究は医学生命科学分野の発展において大きな役割を担っていますが、法令、規則に則った適正な実施が必要です。動物を用いた研究が適正に実施できるように利用者の皆様をサポートしています。

問い合わせ先

動物実験施設 2F 事務室

TEL 0952-34-2431 （准教授室: 0952-34-2430）

FAX 0952-34-2024

MAIL animal-webmaster●med.saga-u.ac.jp（スタッフ全員）

ウェブページ <http://www.animal.med.saga-u.ac.jp/>

※動物実験の申請や動物実験施設の利用に必要な各様式もあります。

利用手順

1. 動物実験に関する教育訓練の受講
動物実験計画書※の申請・承認
2. 統合認証システム ID の発行
職員証・学生証・認証カードの準備
3. 部門利用申請
4. 利用者講習会の受講
5. 動物搬入・飼育室使用申込書の提出
6. 動物搬入・飼育
7. 飼育経費等の支払
8. 動物実験結果報告書※等の提出

Q&A

Q. 動物実験に関する教育訓練は何処で受けられますか？

A. 動物実験に関する教育訓練は、鍋島地区と本庄地区でそれぞれ年に1回ずつ行われています。実施時期については、事務局からの学内向け案内をご確認下さい。教育訓練の実施は、部門の専任教員が担当しています。

Q. 動物実験計画書を作成したのですが何処に提出すればよいのですか？

A. まずは施設の専任教員に提出して下さい。施設の専任教員が動物実験計画書の作成支援・事前確認を担当しています。専任教員の確認後、研究協力課に提出していただきます。また、記入方法がわからないときは専任教員にご相談下さい。様式は部門のウェブページからダウンロードすることができます。

※動物実験に関する書類の提出先

研究協力課研究協力係

担当者問合せ先：動物実験施設 2F 事務室（TEL 0952-34-2431）

Q. 動物実験施設の玄関はいつもカギがかかっていますがどうしたら入れますか？

A. 動物実験施設への入館には申請・登録が必要です。

以下 URL より部門利用申請してください。

<http://www.animal.pv.med.saga-u.ac.jp:8080/index.php?id=3>

申請には以下の条件があります。

- 職員証、学生証、認証カードのいずれかのカードが発行されていること
- 佐賀大学統合認証システムを利用するための、メールアドレス及びパスワードが発行されていること

Q. 施設の利用者講習会はいつ実施していますか？

A. 年度始めに定期的に実施しています。

また、施設の利用開始時に個別にも実施しています。

Q. 動物実験施設にはどのような設備がありますか？

A. 動物実験施設には、実験動物の飼育管理に必要な飼育器材や自動ケージ洗浄器機、高圧蒸気滅菌装置などの衛生設備があります。また、動物飼育室の他に共同利用の実験室手術室等を備えています。一般動物飼育区域以外に特殊な実験区域として以下の区域があります。

- 1) SPF バリアー飼育区域（免疫不全動物などの易感染性動物の飼育）
- 2) 感染実験区域（病原微生物を使用した感染実験）
- 3) 有害物質実験区域（発癌物質、重金属などを使用した動物実験）
- 4) 隔離区域（疾病動物の隔離飼育、外部の研究機関から搬入される動物の検疫飼育）

Q. どのような実験動物が飼育できますか？

A. マウス、ラット、ハムスター、モルモット、ウサギ、イヌ、ブタ、ヤギ等が飼育できます。ただし、利用者自身で施設内に動物を勝手に持ち込むことはできません。

Q. 実験動物の飼育管理はどうすればよいですか？

A. 動物の飼育管理、飼育室清掃、飼育器材の洗浄等はスタッフが行います。ただし、特殊な動物（自家繁殖、遺伝改変動物等）の給餌、給水、ケージ交換は利用者でお願いします。詳しくはスタッフにお尋ね下さい。

Q. 実験動物の飼育管理以外にどのような研究支援サービスを実施していますか？

A. 下記のサービスを実施しています。

- 1) 動物実験に関する研究相談
- 2) 動物実験計画書の作成支援・事前確認
- 3) 動物実験に関する教育訓練・技術指導
- 4) 実験動物に関する技術提供（主にマウス、要相談）
 - ・ 体外受精・胚移植による微生物学的クリーニング
 - ・ 精子・胚の凍結保存
 - ・ 凍結精子・胚からの個体作成
 - ・ 遺伝子改変動物作成

機器分析部門（鍋島地区）



概要

全学共同利用施設として、以下のことを行っています。

1. 教育研究に必要な設備・機器の整備と、適切な管理運営
2. 設備・機器取扱者への各種講習

問い合わせ先

管理室	医学部基礎研究棟 2 階 2228 室
TEL	0952-34-2404
FAX	0952-34-2015
MAIL	kiki-staff●ml.cc.saga-u.ac.jp（スタッフ宛）
ウェブページ	http://www.kiki.med.saga-u.ac.jp/

利用手順

1. 統合認証システム ID の発行
職員証・学生証・認証カードの準備
2. 部門利用申請
3. オリエンテーションの受講
4. 機器の予約
5. 機器利用
6. 利用料金の支払

Q&A

Q. 誰でも利用出来ますか？

A. 佐賀大学の教職員・学生であれば利用できます。

Q. 学生実習・授業等でも利用出来ますか？

A. 担当教員の責任の元、事前に申し出があれば、優先的に利用できます。

Q. 機器を使うためにはどうしたらいいですか？

A. 以下 URL より利用申請してください。

<http://www.kiki.pv.med.saga-u.ac.jp:8080/sinsei.html>

- 職員証、学生証、認証カードのいずれかのカードが発行されていること
 - 佐賀大学統合認証システムを利用するための、メールアドレス及びパスワードが発行されていること
- が、申請条件となります。

Q. オリエンテーションはいつ開催されますか？

A. オリエンテーションは、毎年度始めに実施しています。
年度途中は個別に行いますので、ご相談ください。

Q. 機器の予約はどうしたらいいのですか？

A. 以下の URL からオンライン予約してください。
携帯端末からもアクセスできます。

<https://resweb01.med.saga-u.ac.jp/>

Q. 利用登録をすれば機器は自由に使えるのですか？

A. 夜間休日問わず、24 時間、365 日利用できます。
一部の機器は、講習会の受講が必要です。

Q. 試料調製できる場所がありますか？

A. 共同利用実験室を準備しています。
実験室が無い方、測定機器の近くで試料調製されたい方も利用できます。

Q. こんな実験出来ますか？

A. 研究相談はいつでも受け付けています。研究に即した機器もご紹介します。

Q. 機器の使い方は教えてもらえますか？

A. 使用する際は、スタッフがいつでも取扱説明をします。

実験計画に合わせて、余裕を持ってお問い合わせください。

Q. どんな機器があるのですか？

A. 大小あわせて 120 台程の機器があります。主な設備は以下の通りです。

機器名	型式
電子顕微鏡	透過型 JEM-2100、JEM-1400 走査型 JSM-6510
光学顕微鏡	倒立・共焦点 LSM880+Airyscan fast 正立・蛍光 AxioImagerM2+Apotome.2
質量分析装置	LCMS-8030 GCMS-QP2010
DNA シーケンサー	3130 Genetic Analyzer
リアルタイム PCR	StepOnePlus
デジタル PCR	QX200 series
細胞自動解析装置	FACSCalibur FACSVerse MACSQuant
基盤設備	共同利用実験室 培養室 低温室 蒸留水・超純水

その他の設備は、機器一覧を以下の URL からご確認ください。

<http://www.kiki.pv.med.saga-u.ac.jp:8080/download/KikiList/kikilist.pdf>

Q. 利用料金はいくらですか？

A. 装置によって異なりますので、以下の URL を、参考にしてください。

<http://www.kiki.pv.med.saga-u.ac.jp:8080/charge.html>

利用料金は、年 3 回（5 月、9 月、1 月）請求いたします。

5 月請求分は、一般運営経費でしか負担できませんのでご注意ください。

Q. 講習会などは開催していますか？

A. 最先端技術の紹介セミナー、既存機種 of 取扱い説明会、デモ機設置などは、月 1～2 回行っています。話を聞きたい機器や技術があれば、是非お声かけください。

放射性同位元素利用部門

(鍋島地区)



概要

全学共同利用施設として、以下のことを行っています。

1. 放射性同位元素 (Radioisotope:RI) を利用した実験を行うための施設・設備・機器の管理・運営
2. 学内外で RI・放射線発生装置を扱うために必要な教育訓練

問い合わせ先

管理室	医学部臨床研究棟西側 RI 実験施設 1 階
TEL / FAX	0952-34-2421
MAIL	itoht1●cc.saga-u.ac.jp (伊藤 富生)
ウェブページ	http://www.ri-center.med.saga-u.ac.jp/

利用手順

1. 統合認証システム ID の発行
職員証・学生証・認証カードの準備
2. 部門利用申請
3. RI 教育訓練の受講
4. 健康診断の受診
5. 機器利用
6. 利用料金の支払

Q&A

Q. 施設を利用するためにはどのような手続きが必要ですか？

A. 以下 URL より利用登録申請してください。

<http://www.kiki.pv.med.saga-u.ac.jp:8080/sinsei.html>

- 職員証、学生証、認証カードのいずれかのカードが発行されていること
- 佐賀大学統合認証システムを利用するための、メールアドレス及びパスワードが発行されていること

が申請に必要です。

更に、教育訓練を受講し、健康診断を受診する必要があります。

Q. RI 教育訓練はいつ開催されますか？

A. 原則として毎年度始めに実施しています。

年度途中の登録も可能ですので管理室まで申し出てください。本庄地区の教職員も利用登録することができます。

Q. どんな機器があるのですか？

A. 機器一覧は、研究設備データベースとして公開しています。

<http://www.kiki.med.saga-u.ac.jp/kikidata.html>

Q. どのようなアイソトープがどのくらい利用できますか？

A. 当施設で使用可能なアイソトープは下記リンク先の 28 ページをご覧ください。

http://www.ri-center.med.saga-u.ac.jp/saga-med_only/pdf/newtebiki2.pdf

Q. アイソトープ購入の手順とは？

A. アイソトープを購入するときは、当施設で使用可能な核種であることを確認して、「アイソトープ注文書」、ならびに「RI 使用計画書」に必要事項を記入し、管理室へ提出してください。注文書、計画書は RI 実験施設管理室で配布しています。

Q. 利用登録をすれば機器は自由に使えるのですか？

A. 夜間休日問わず、24 時間、365 日利用できます。

Q. 機器の使い方は教えてもらえますか？

- A.** 初めて使用する際は、スタッフが使用方法の説明をします。
実験計画に合わせて、余裕を持ってお問い合わせください。

Q. 放射線を照射する実験は可能ですか？

- A.** ^{137}Cs が線源であるガンマ線照射装置と、X線照射装置の2台の放射線照射装置があります。照射時間の調整による線量の変更については、管理室までご相談ください。

Q. 実験用の消耗品は講座負担ですか？

- A.** 実験用手袋、キムタオル、ピペット、ガラス器具等、消耗品は原則として利用者が持ち込んだものを使用していただきます。

Q. 受益者負担について教えてください。

- A.** 研究機器の消耗品費・修理費、RI廃棄物集荷料金、アイオデネーション室維持費などの一部を定められた方式に従って算出し、受益者負担金として年度ごとに講座費より移算しています。

環境安全部門



概要

全学共同利用施設として、以下のことを行っています。

1. 化学薬品管理
2. 作業環境測定
3. リサイクルファシリティ
4. 実験廃液の排出管理（鍋島地区のみ）
5. 局所排気装置の管理（鍋島地区のみ）

問い合わせ先

（本庄地区）

管理室	理工学部 9 号館 1 階 101 号室
TEL / FAX	0952-28-8896

（鍋島地区）

管理室	医学部臨床研究棟西側 RI 実験施設 1 階
TEL / FAX	0952-34-2421

MAIL	kankyo-staff●ml.cc.saga-u.ac.jp（本庄、鍋島共通）
ウェブページ	http://www.kankyoanzen.med.saga-u.ac.jp/

利用手順

化学薬品管理、リサイクルファシリティ、廃棄物管理、局所排気装置は、利用手順が異なります。まず、上記問い合わせ先へご相談ください。

Q&A

Q. 薬品管理システム（CRIS）とは何ですか？

- A. 研究室にある化学薬品のうち、特に危険性の高い毒劇物などを登録し、使用状況を管理するシステムです。

Q. CRIS は誰が入力すればよいのですか？

- A. 原則的に個々の使用者が行います。

具体的な操作方法は、下記のウェブページにある操作マニュアルと高圧ガス操作マニュアルを参照して下さい。

http://cris.med.saga-u.ac.jp/cris_v2_0/Login.aspx

Q. CRIS にはどんな薬品を登録すればいいですか？

- A. 次のものは必ず登録してください

- ・ 毒劇物（「医薬用外劇物」または「医薬用外毒物」と記載されているもの）
- ・ 消防法上の危険物（以下のリンク参照）

http://www.fdma.go.jp/neuter/about/shingi_kento/h24/kasai_chosa/01/sanko_01_02.pdf

- ・ その他の法令（労働安全衛生法、PRTR 法、水質汚濁防止法等）に該当する薬品
- ・ 高圧ガスボンベ

Q. 薬品を使用するたびに、CRIS へ入力しなくてははいませんか？

- A. 毒劇物は、使用時毎に行ってください。

その他の薬品は、使用時毎またはボトル単位、高圧ガスボンベは、納品または返却時毎に入力をしてください。

Q. 消防法上の危険物は、研究室にいくらでも置けるのですか？

- A. 保管できる量は指定数量で決まっています。

研究室ごとの指定数量の合計が、指定数量の 1/5 量以上は研究室に保管できないため、共通の貯蔵庫に保管することになっています。購入時には、指定数量の合計が 1/5 量未満であるように留意して、管理を行うことが必要です。

研究室ごとの指定数量の合計は、CRIS で確認できます。

Q. 共通の貯蔵庫というのはどこにありますか？

- A.** 本庄地区は危険物屋内貯蔵庫（3 ページ参照）、鍋島地区は危険物薬品庫（14 ページ参照）です。

Q. 作業環境測定とは何ですか？

- A.** 実験を行っている研究室などの「作業環境」中における有害物質等の量を測定します。測定により、その作業環境で働く者が有害物質等にどの程度さらされているのか把握します。労働安全衛生法の下での作業環境測定法により、有害な業務を行う屋内作業場等での実施が義務づけられています。部門担当者は作業環境測定士の有資格者であり、関連する業務を担当しています。

Q. リサイクルファシリティとは何ですか？

- A.** 環境安全部門では、不要になった研究設備やその他物品の斡旋仲介を行っています。利用方法については、下記、URL を参照してください。

<http://www.kankyoanzen.pv.med.saga-u.ac.jp:8080/recycle/index-j.html>

Q. 実験廃液の回収方法がわかりません。(鍋島地区のみ)

- A.** 実験廃液の回収は、次の手順で行います。
1. 産業廃棄物受託表の記入
 2. 排出日 1 週間前までにメールで近藤敏弘（kondoht●cc.saga-u.ac.jp）まで提出
 3. 担当者からの予約完了連絡と、産業廃棄物受託表の返送
 4. 回収日に、廃液タンクへ産業廃棄物受託表を貼り付け、危険物薬品庫（14 ページ参照）へ搬入してください。

産業廃棄物受託表は、以下の URL よりダウンロードして使用してください。

<http://www.kankyoanzen.pv.med.saga-u.ac.jp:8080/haieki/index-j.html>

Q. 実験廃液の回収日はいつですか？(鍋島地区のみ)

- A.** 原則、毎月第一月曜日 16 時 30 分より行っています。
予定表は上記の URL からご確認ください。

**Q. 局所排気装置（ドラフトチャンバー）の点検はどうしたらいいのですか？
（鍋島地区のみ）**

A. ドラフトチャンバーの点検は、次の手順で、各研究室で年 1 回行って下さい。

1. 記録表を下記から入手します。

<http://www.kankyoanzen.pv.med.saga-u.ac.jp:8080/>

2. 点検を実施します。測定機器は当部門で貸出します。

測定法についてもお尋ねください。

3. 点検結果を記録表に記入し、近藤敏弘（kondoht●cc.saga-u.ac.jp）までメール添付にて提出して下さい。

4. 測定後、ドラフトチャンバーの不調が発見された場合は、施設課機械保全担当（内線番号 3295）へ修理を依頼してください。

学外利用



概要

全学共同利用施設として、所有する研究設備の学外利用を受け入れています。
機器管理者のサポートのもと、ご自身で測定を行っていただきます。

問い合わせ先

管理室	医学部基礎研究棟 2 階 2228 室
TEL	0952-34-2404
FAX	0952-34-2015
MAIL	arces-staff●ml.cc.saga-u.ac.jp (スタッフ宛)
ウェブページ	http://www.kiki.med.saga-u.ac.jp/gakugai.html

利用手順

1. 機種選定
2. 利用申請
3. 利用講習の受講
4. 機器の予約
5. 機器利用
6. 利用料金の支払

Q&A

Q. 誰でも利用出来ますか？

A. 公的機関、教育機関、一般企業等、どんな職種・業種の方でも利用できます。

Q. 試料調製できる場所がありますか？

A. 共同利用実験室をご利用ください。

試料調製用の小型機器を準備し、ガラス器具等の貸出も行っています。

Q. どんな機器があるのですか？

A. 各種工作機械、電子顕微鏡、質量分析装置、X線・ガンマ線照射装置等、大小あわせて 42 台の機器を学外利用に公開しています。

詳細は、以下の URL から設備の一覧をご確認ください。

<http://www.kiki.med.saga-u.ac.jp/gakugai/20180401-centerkikilist.pdf>

Q. 機器を使うためにはどうしたらいいですか？

A. 以下の URL から利用申請書を提出してください。

<http://www.kiki.med.saga-u.ac.jp/gakugai.html>

学内での申請処理に 2～3 週間、お時間をいただいています。

余裕を持った申請をお願いいたします。

Q. 機器はいつでも使えるのですか？

A. 平日 8：30～17：15 まで利用できます。

オーバーナイトでの測定は可能です。

また、利用には事前予約が必要です。

Q. 機器の予約はどうしたらいいのですか？

A. 以下の URL の学外利用予約書をメールにて送付してください。

<http://www.kiki.med.saga-u.ac.jp/gakugai/20180401-centeryoyaku.pdf>

折り返し、確定した予約日時をご連絡いたします。

実験計画にあわせて、余裕を持って申請してください。

Q. 機器の使い方は教えてもらえますか？

A. 初めて使用する際は、スタッフが利用講習をおこないます。

場合によっては、機器の操作に慣れるまで、スタッフが付き添います。

Q. 利用料金はいくらですか？

A. 以下の URL からご確認ください。

<http://www.kiki.med.saga-u.ac.jp/gakugai.html>

佐賀大学から請求書が発行された翌月末日までに指定口座へ振込でください。

請求月は、9 月（4～8 月利用分）と 1 月（9～12 月利用分）です。

1～3 月利用分の請求月は、ご相談の上、決めさせていただきます。

Q. 放射線を照射する実験は可能ですか？

A. ^{137}Cs が線源であるガンマ線照射装置と、X 線照射装置の 2 台の放射線照射装置があります。照射作業はスタッフが行いますので、照射条件など、詳細についての打ち合わせをさせていただきます。

Q. こんな分析できますか？

A. 分析相談はいつでも受け付けています。サンプル情報を可能な範囲でお知らせ頂ければ、測定可能な装置のご案内もいたします。まずは、ご相談ください。

総合分析実験センター 職員名簿（平成30年4月1日現在）

部門名等	地区等	職位	氏名	内線
センター長（併任）	理工学部	教授	高椋 利幸	8554
副センター長（併任）	医学部	教授	吉田 裕樹	2290
生物資源開発部門	本庄地区	准教授	永野 幸生	8898
	鍋島地区	准教授	北嶋 修司	2430
		助教	松久 葉一	2432
		技術専門職員	詫广 茂信	2431
		技術員	河端 万葉	2431
		技能補佐員	大石 真希	2431
		技能補佐員	江里口 理嘉	2431
		技能補佐員	坂井 夫巳子	2431
		技能補佐員	井上 怜佳	2431
機器分析部門	本庄地区	准教授	兒玉 宏樹	8552
		技術員	新地 姉理華	8896
		技術員	真瀬田 幹生	8896
	鍋島地区	技術員	森 加奈恵	2404
		技術員	栗山 恵輔	2404
		教務員	徳山 由佳	2404
		（兼任）	近藤 敏弘	2421
放射線同位元素 利用部門	本庄地区	助教	龍田 勝輔	8785
	鍋島地区	技術専門職員	伊藤 富生	2421
環境安全部門	本庄地区	（兼任）	新地 姉理華	8896
	鍋島地区	教務員	近藤 敏弘	2421

※キャンパス間（本庄―鍋島）で電話する場合は、
内線番号の前に「6」をプッシュしてください。

